

マスクフィットテスト “1年以内ごとに1回実施”義務化

【改正の概要】

①溶接作業

金属アーク溶接等作業中に発生する「溶接ヒューム」について、労働者に神経障害等の健康障害を及ぼすおそれがあることが明らかになったことから、「継続」して行う「屋内作業場」の労働者は、呼吸用保護具を適切に装着できていることを確認するフィットテストを1年以内に1回実施することが義務化されました。
(令和5年4月1日より)



②第3管理区分作業場

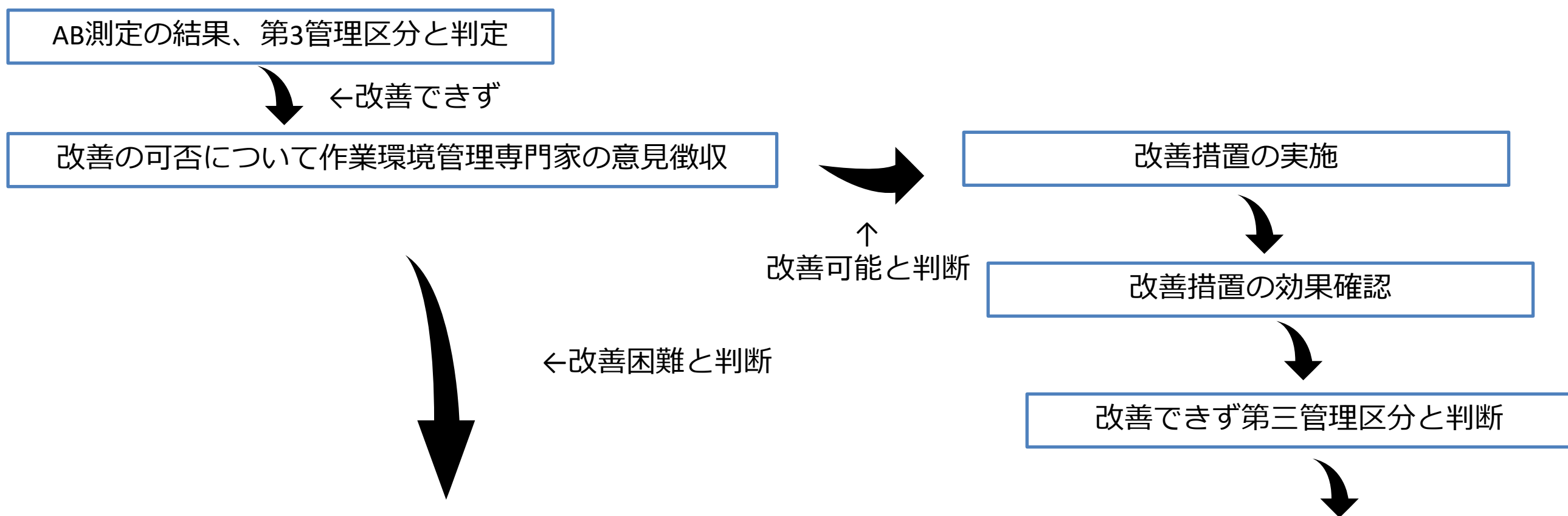
作業環境測定結果が**第三管理区分**となった場所の規制が強化され、個人サンプリング法の実施やマスク着用の義務化に併せて、マスクフィットテストも義務化となります。
(令和6年4月1日より)

第三管理区分とは・・・作業環境測定の結果、管理濃度を超えている状態のこと

第三管理区分の事業場に対する規制強化

濃度測定	AB測定→個人サンプリング法で実施
呼吸用保護具の選択	使用する呼吸用保護具は要求防護係数を上回る指定防護係数を有するものでなければならない。
呼吸用保護具の装着確認	JIS T 8150に定める方法（フィットテスト）により求めたフィットファクタが呼吸用保護具の種類に応じた要求フィットファクタを上回っていることを確認する。

新たな規制（第三管理区分になってしまった場合）



呼吸用保護具によるばく露防止対策の徹底

- ①作業環境測定の結果に応じて有効な呼吸保護具を使用させること。
→**要求防護係数を上回る指定防護係数を有するものでなければならない。**
- ②呼吸用保護具が適切に装着されていることをフィットテストで確認すること。
→JIS T 8150に定める方法により**呼吸用保護具の種類に応じた要求フィットファクタを上回っていることを確認する。**

【マスクフィットテストとは？】

マスクが顔に隙間なく密着しているかどうかを確認する試験のことを指します。フィルター性能が高くても、マスクが顔にフィットしていなければ本来の性能が発揮されないためフィットテストにてマスクと顔の密着具合を確認します。

また、試験はJIS T8150：2021による方法でマスクの密着性を確認しながら、被験者に複数の指定動作を行わせ、マスクの密着性を総合的に確認します。



【フィットテストの評価方法や評価基準は？】

フィットテストの評価には『フィットファクタ（FF）』という数値が用いられます。フィットファクタは“マスク外側の粉じん”と“マスク内側の粉じん”の比率により求まり、フィットファクタが大きいほど、マスクがきちんと顔に密着しており、マスク内への粉じんの漏れ込みが少ないことを表しています。

フィットファクタ
(FF)

=

マスク“外側”の粉じん
マスク“内側”の粉じん

例：粉じんが外側に100個、内側に1個の場合・・・
フィットファクタ(FF) = $\frac{100}{1} = 100$

面体の種類	要求フィットファクタ
全面型面体	500
半面型面体	100

【定量的フィットテストの実施方法】

以下の専用の測定機器を用いて面体内外の粒子を計測し密着性を確認します。



MT-11D型（CNCタイプ）

- 標準法
- ・7動作を実施
 - ・測定時間：9分
- 短縮法（CNCタイプのみ実施可）
- ・4動作を実施
 - ・測定時間：2分29秒

〈短縮法の動作〉

動作	
半面形/全面形面体	使い捨て式防じんマスク
1. 前屈	1. 前屈
2. その場で駆け足	2. 発声
3. 頭を左右に回す	3. 頭を左右に回す
4. 頭を上下に動かす	4. 頭を上下に動かす

【個人サンプリング法とは】

労働者の身体に装着する試料採取機器等を用いて行う作業環境測定の手法です。



PM4個人サンプラーセット

柴田科学株式会社

本 社 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-6-6
東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207
大阪営業所 ☎06-6362-7321 仙台営業所 ☎022-207-3750
名古屋営業所 ☎052-263-9310 マーケティング課 ☎048-933-1574

<https://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）
☎0120-228-766 FAX：048-933-1590